

第2回 横浜市中区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会議事録	
日 時	令和2年6月12日（金） 13時～17時半
開催場所	中区役所別館305会議室
出席者	<p>【選定委員】</p> <p>金子 安男委員、佐々木 豊子委員、長尾 孝治委員、二戸 明美委員、            蒔田 高安委員、妻鹿 ふみ子委員、梁田 理恵子委員</p> <p>【事務局】</p> <p>山本 千穂（中区福祉保健課長）、栗山 潤一郎（中区高齢・障害支援課長）            鈴木 直子（中区福祉保健課事業企画担当係長）            新海 隆生（中区高齢・障害支援課高齢者支援担当係長）            田中 牧子（中区高齢・障害支援課地域包括ケア推進担当係長）            中区福祉保健課事業企画担当 4名</p>
欠席者	松澤 秀夫委員
開催形態	公開（傍聴者なし）ただし、審議・指定管理者の候補者の選定については非公開
議 題	1 審査方法等について 2 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査 3 審議・指定管理者の候補者の選定 4 連絡・確認事項
決定事項	<p>指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に代わって指定候補者となる者（以下、「次点候補者」という。）として、次のとおり、横浜市中区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>横浜市新山下地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者              指定候補者 社会福祉法人 横浜社会福祉協会              次点候補者 応募団体が1団体のため該当なし</li> <li>横浜市不老町地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者              指定候補者 社会福祉法人 横浜社会福祉協会              次点候補者 応募団体が1団体のため該当なし</li> <li>横浜市本牧和田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者              指定候補者 社会福祉法人 横浜社会福祉協会              次点候補者 応募団体が1団体のため該当なし</li> <li>横浜市麦田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者              指定候補者 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会              次点候補者 応募団体が1団体のため該当なし</li> <li>横浜市本牧原地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者              指定候補者 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会              次点候補者 応募団体が1団体のため該当なし</li> <li>横浜市簗沢地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者              指定候補者 社会福祉法人 横浜市社会事業協会</li> </ol>

	<p>次点候補者 応募団体が1団体のため該当なし</p>
<p>議 事</p>	<p>1 審査方法等について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募団体のプレゼンテーション・面接審査の流れ及び採点・集計方法について説明。</li> <li>・選定方法について、最低制限基準は評価基準項目1～6の各委員の採点を合計し、得点率として60%を超えること、また、最低制限基準に満たない場合は再公募を行うことを再確認。</li> <li>・公募要項に記載の(ア)～(ク)の8項目の欠格事項について、応募があった4団体については全て該当がなく、応募者としての資格があることを報告。</li> </ul> <p>2 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査 応募団体から運営ビジョン、次期5年間の事業計画、前期指定管理業務の実績(現行法人のみ)について説明。その後、質疑応答。</p> <p>(1) 横浜市新山下地域ケアプラザ 社会福祉法人 横浜社会福祉協会</p> <p>主な質疑応答</p> <p>(委員) 障害者の高齢化について、支援者の連携についての具体的な計画等があるか。</p> <p>(団体) 地域包括支援センターの職員と関係機関の相談員との連携が必要である。また、ケアマネジャー支援のための事例検討の機会を作る必要がある。</p> <p>(委員) 現在の感染症拡大の影響を踏まえ、事業運営をどのように変えるのか。</p> <p>(団体) 地域住民の集いの機会が無くなることのないよう、感染症予防を行った上で、新たな手法の提案を行っていく。</p> <p>(委員) 地域特性として、外国人が多く、マンションも多いことから自治会町内会への加入率が低い状況があるが、地域ケアプラザとしてどのようにアプローチしていくのか。</p> <p>(団体) 地域ケアプラザの多職種が連携し、地域活動に参加していない住民の発掘について、地域住民と協議体を設置し、検討していく。</p> <p>(委員) 地域活動の人材確保について、具体的な成果が上がった事業はあるか。</p> <p>(団体) 認知症キャラバンメイトや脳トレリーダー等、地域課題に問題意識がある住民の活動を後方支援したことで、地域で行う取組が増えた。</p> <p>(委員) 地域住民にとって安心・安全な施設でなければならないと思うが、施設の維持管理をどうしているか。</p>

(団体) 年間計画に基づき管理している。特に日々の清掃については、現在の感染症予防も踏まえ、方法を見直し、対応している。

(委員) 新型コロナウイルスの影響により、休館中に実施したことや今後工夫することはあるか。

(団体) 休館中は、再開時期に関する問い合わせが多く、HP等で情報を発信。また、民生委員・児童委員と連携し、地域の近況について情報共有。

(2) 横浜市不老町地域ケアプラザ  
社会福祉法人 横浜社会福祉協会

主な質疑応答

(委員) 寿地区は、住民の高齢化や障害を抱えている人も多いが、寿町健康福祉交流センターや寿福祉プラザ等の専門機関とのネットワークや連携等についての具体的な計画はあるか。

(団体) 寿町健康福祉交流センター内にある健康コーディネート室の職員が、重症化する前の支援をしており、連携して支援していく。

(委員) 他の地域ケアプラザと比べ担当地区が多いが、困難なことや工夫していることはあるか。

(団体) 限られた職員のため、地区担当を決め、地域を把握し、支援している。

(委員) 外国人が多いが、地域とつなぐ上で成果が出たことや今後の計画はあるか。

(団体) 中国映画の鑑賞を通じた交流の促進。また、地域住民で多言語が可能な方を把握し、活動につなげる。

(委員) 貸館の利用率を上げるために工夫していることはあるか。

(団体) 職員が地域に積極的に出向き、情報発信している。

(委員) 今後5年間で地域の高齢化が進み、地域の担い手確保が課題だが、次世代の担い手の発掘はどうするか。

(団体) 担い手の確保は、地道な活動の積み重ねが重要。地域に出向き、地域住民の意向を尊重しながら、地域活動につながる働きかけを行っている。また、次世代に向けて、地域参加のきっかけとなるような自主事業を行う。

(委員) 次世代である若い層の活動のきっかけとなった事業はあるか。

(団体) ケアプラザ祭りの参加団体には、子育て世代の住民も多く、団体間の連携や地域参加へのきっかけづくりとなっている。

(3) 横浜市本牧和田地域ケアプラザ  
社会福祉法人 横浜社会福祉協会

主な質疑応答

(委員) 高齢者が多い一方で、年少人口が増えていくようだが、子どもから高齢者までのライフステージに合わせた一連的な支援と障害者支援についてどう考えるか。

(団体) 中区内で複数の施設の指定管理を受託していることから、そのネットワークを生かし、エリアを超えた支援を模索していく。また、年少人口が多いことから、学生等を巻き込んだ取組を考えている。そして、障害理解を進めるため、関係機関と連携し、出張相談を行う。地域には、認知症に関心がある住民も多く、認知症の理解を通じて、地域の見守りの仕組みづくりを行う。

(委員) 職員の雇用や人材育成をどのように考えているか。

(団体) 当法人は、14の施設運営を通じて、豊富な人材を有しているため、地域性なども踏まえた職員の配置が可能。また、目標支援制度を通じた人材育成や職員の精神的なケアを管理者との面談等に対応している。また、外国籍住民が多い地域特性があるため、外国語に対応できる職員の育成も検討したい。

(委員) 法人が変わるが、前法人が培ってきたものを引き継ぎつつ、変えていかなければならない部分のバランスはどうするか。

(団体) 前法人が培ってきたノウハウを適切に引き継ぎつつ、地域課題や住民要望も踏まえ、新しい取組も必要。また、住民に運営法人が変わることによる不利益がないよう努めていきたい。

(委員) 法人が変わることを地域住民が実感することは少ないと思うが、運営方法や職員が変わってしまう点で地域住民に影響のないよう引き継いでいただきたい。

(委員) 子育て世代も多いが、福祉や地域活動に興味のない住民に対してどうするか。

(団体) 地域福祉に関心がない住民や、様々な事情によって地域参加が難しい住民に対しては、広報紙の発行等で地域の魅力を発信する。

(4) 横浜市麦田地域ケアプラザ

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

主な質疑応答

(委員) 高齢者と障害者について、連携した支援やネットワークについての考えは。

(団体) 地域包括支援センターでは、障害者と高齢の親の世帯から相談もある。関係機関である生活支援センターやみはらしポンテと連携し、丁寧に支援している。また、中区障害者自立支援協議会に参加し、関係団体の支援状況を共有している。地域住民には、講座や研修等を通じて、障害理解の啓発に努めている。

(委員) 外国人も多いが、多文化共生について注力していることはあるか。

(団体) 子育て支援事業や出張講座を通じて、交流のきっかけ作りを行っている。今後は地域ケアプラザの機能を周知していきたい。

(委員) 利用者の拡大や地域活動の担い手の発掘をどのように行うか。

(団体) 13町内会の中で、関係性が築けていないエリアの福祉ニーズに応えていけるよう、地域ケアプラザの周知をしている。また、地域ケアプラザで情報提供できる制度やサービスについて一覧のチラシを作成し、地域の要望に合わせて、出張講座を行っている。新たな担い手の発掘については、参加のきっかけ作りのためのボランティア講座や研修などを行い、地域住民が地域福祉に関心を持てるようにしていく。

(委員) 出張や訪問等のアウトリーチを積極的に実施しているようだが、周知をどうしていくのか。

(団体) 自治会町内会の回覧を利用しているほか、民生委員・児童委員にも協力を依頼し、情報が必要な住民にポストインなども行っている。

また、若い世代への発信としてSNS等の活用も検討していく。

#### (5) 横浜市本牧原地域ケアプラザ

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

##### 主な質疑応答

(委員) 古くからの商店街と新しくできたまちが混在するという地域特性があるが、高齢者や障害の理解をどのように促進するか。

(団体) 積極的に地域へ出向いている。また、高齢者支援以外の機能もあることを特に周知している。

(委員) 障害分野のアウトリーチ支援についての取組と今後の展望はあるか。

(団体) 地域に出向き、住民に声をかけ、ニーズや課題を拾い、住民と共に考えていくことを基本にしている。

(委員) 男性の担い手発掘について、成果が上がったものはあるか。また、傾聴のボランティア講座により、新たな担い手の獲得につながったのか。

(団体) 男性の担い手を獲得するために、男性が参加しやすい形でレコードカフェを実施し、当初、スタッフが行っていたコーヒーの提供をボランティアが行うようになった。また、傾聴ボランティア講座終了後、デイサービスや特別養護老人ホーム等で傾聴の活動を実施したことで、ボランティアの意欲も高まり、個人宅への訪問も始めている。

(委員) 感染症対策により、休止している地域活動の再開に向けてどのように支援するか。

(団体) 感染症対策を徹底した上、来所してもらえる工夫をし、住民の健康を維持する取組を行う。

(6) 横浜市箕沢地域ケアプラザ

社会福祉法人 横浜市社会事業協会

主な質疑応答

(委員) 在宅医療介護連携推進事業をどう取り組んでいくか。

(団体) 医療が必要な相談者には、地域の医療機関と連携を図り、地域で生活が継続できるよう段階的に支援していく。

(委員) 高齢と障害の連携した支援について、どのように考えているか。

(団体) 障害児には、幼少期から地域ケアプラザとのつながりを持てるよう自主事業を実施している。また、学齢期の相談に対応可能な職員の配置や小・中学校と連携し、長期休暇の居場所の提供等を行っている。高齢者の障害に関する新たな課題については、区役所や関係機関と情報交換し、支援している。

(委員) 新たな担い手の獲得をどのようにするか。また、新たな取組のビジョンはあるか。

(団体) 認知症サポーター養成講座の企画を住民のキャラバンメイトと共に行い、認知症理解を広げていく。また、子育て相談等の養育者支援を通じて、将来的に地域活動の担い手となるような働きかけを行う。また、地域活動を発信し、住民が地域に関心を持てるようにする。

3 審議・指定管理者の候補者の選定

・プレゼンテーション及び面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計した。

・各団体の財務状況評価については、本市（健康福祉局）が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を踏まえ、税理士である佐々木委員から評価の説明を受けた。

(1) 横浜市新山下地域ケアプラザ

	応募団体	得点/満点 (得点率)
指定候補者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	合計 1,599点/2,170点 (73.7%) ※最低制限基準 1,239点

※小計…評価基準項目1～6の配点  
(審査講評)

- ・子どもから高齢者まで、また、障害者・外国人等に対しても積極的に関わりや、具体的な取組を行うビジョンを持っている。
- ・事業計画書から、職員の人材育成に注力しており、団体として信頼できる。
- ・地域特性上、地域参加が少ない住民も多いが、「サロンしんやま」等の事業を通じて、地域住民の交流の場を提供している。

(2) 横浜市不老町地域ケアプラザ

	応募団体	得点/満点 (得点率)
指定候補者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	合計 1,573点/2,205点 (71.3%) ※最低制限基準 1,260点

※小計…評価基準項目1～6の配点

(審査講評)

- ・多様な住民がいる地域だが、高齢障害の分野問わず、幅広く支援している。
- ・担当地区が多いが、自主企画事業や地域住民との交流を積極的に行っており、今後の地域づくりに期待したい。
- ・特徴的な地域性があり、限られた資源のなかで地域づくりを行い、様々な成果を出している。

(3) 横浜市本牧和田地域ケアプラザ

	応募団体	得点/満点 (得点率)
指定候補者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	合計 1,531点/2,100点 (72.9%) ※最低制限基準 1,260点

※小計…評価基準項目1～6の配点

(審査講評)

- ・関係機関との連携が重要であるが、地域へ積極的に出向く姿勢が見られたため、今後に期待する。
- ・職員が替わることで、利用者の不安となる可能性もあるが、法人の人材育成の考え方からも期待できるのではないか。

(4) 横浜市麦田地域ケアプラザ

	応募団体	得点/満点 (得点率)
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	合計 1,646点/2,205点 (74.6%) ※最低制限基準 1,260点

※小計…評価基準項目1～6の配点

(審査講評)

- ・実績の中で、困りごと引き受け隊の立ち上げや、出張講座等は法人の特色が出た取組となっているほか、子ども・高齢分野問わず幅広く積極的に取り組まれている。
- ・丁寧できめ細かな相談対応や地域密着の困りごと解決の仕組みづくりなどに取り組まれている。

- ・事業計画書の中で、自主事業に関してかなり具体的な記述がされていた。

(5) 横浜市本牧原地域ケアプラザ

	応募団体	得点/満点 (得点率)
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	合計 1,625点/2,205点 (73.7%) ※最低制限基準 1,260点

※小計…評価基準項目1～6の配点

(審査講評)

- ・横浜市内に20カ所の地域ケアプラザを運営していることから、豊富な経験を持つ人材が多くいるほか、施設職員の定着も図られている。
- ・財務状況を見る中では、経験や能力のある職員と新人職員の配置のバランスについては、法人の管理者の中で適切に行う必要がある。
- ・アウトリーチを通じた地域福祉のプログラムなどの展開を積極的に行っている。特に、男性の地域参加に向けたノウハウが、蓄積されており、他の地域の情報収集なども行っている。

(6) 横浜市箕沢地域ケアプラザ

	応募団体	得点/満点 (得点率)
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会事業協会	合計 1,533点/2,205点 (69.5%) ※最低制限基準 1,260点

※小計…評価基準項目1～6の配点

(審査評価)

- ・障害分野の実績があり、ノウハウを持っているため期待できる。また、各分野の関係機関との連携も積極的に行っている。
- ・担当地区は、交通の便が悪く、限られた社会資源の中で地域づくりに取り組む苦労があるが、職員も積極的に地域に出ており、周辺の小・中学校との連携も図れている。

資料  
・  
特記事項

1 資料

- (1) 横浜市中区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会(第2回)次第
- (2) 各団体応募書類
- (3) 応募団体に関する各種照会結果について
- (4) 評価シート

2 特記事項

- ・指定候補者となった法人については、選定委員会委員長から区長へ報告を行い、各法人へ通知する。
- ・選定結果は中区のウェブサイトに掲載する。
- ・委員会の議事録は、議事の要旨を中区ウェブサイトに掲載する。



